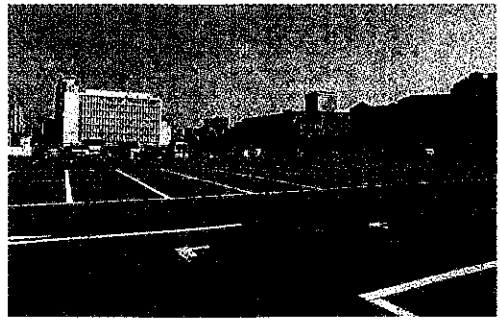
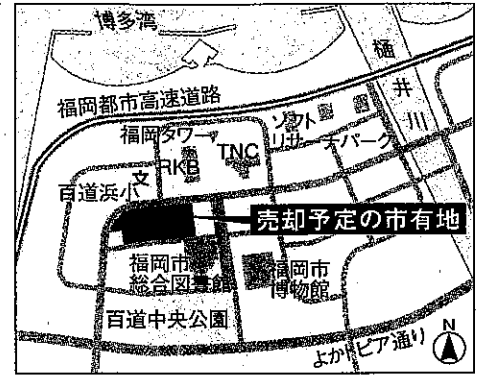


景観保護、地元医療機関との共存を

住民、市議会に請願書



高木学園への売却が予定されている市有地



請願書を出したのは百道浜校区自治連合会の会員ら約20人で、27日には住民約5000人分の署名を提出。この日は市議会第3委員会、この問題が審議され、出席した久恒書成・副会長が「周囲は住宅街で、建設予定だった中学校は4階建ての計画だった」と述べ、

計画されている病院は1階建てで景観を損ねる。また、近隣には医療機関が多く、これ以上の建設は病院の過密状態を招く」と訴え、4者による協議を要求。市港湾局の中島昭男局長が4者協議を行うと述べた。

委員からは「2月の仮契約後では遅い。その前に協議できないのか」との質問が出たが、中島局長は「準備して早々に協議の場を設けたい」と答えるにとどまり、時期についての明言を避けた。

委員からは「2月の仮契約後では遅い。その前に協議できないのか」との質問が出たが、中島局長は「準備して早々に協議の場を設けたい」と答えるにとどまり、時期についての明言を避けた。

委員からは「2月の仮契約後では遅い。その前に協議できないのか」との質問が出たが、中島局長は「準備して早々に協議の場を設けたい」と答えるにとどまり、時期についての明言を避けた。

委員からは「2月の仮契約後では遅い。その前に協議できないのか」との質問が出たが、中島局長は「準備して早々に協議の場を設けたい」と答えるにとどまり、時期についての明言を避けた。

購入予定者交え4者協議へ

病院や医療系専門学校などの建設が予定されている福岡市早良区百道浜の「シーサイドももち」の市有地（約2万3000平方メートル）について、地元住民が市議会に景観保護や既存の医療機関との共存を求める請願書を出した。市港湾局は27日、市と住民、地元の医療関係者、購入予定の学校法人の4者による協議を行う方針を示した。

福岡・百道浜に11階建て病院計画 「住環境の変化に不安」 住民、協議の場求める

福岡市が早良区百道浜の埋め立て地「シーサイドももち」の市有地を学校法人「高木学園」（博多区）に売却する方針を決めた問題で、27日の市議会で、病院設立などを旨とする学園側の計画に反発する住民や市医師会の請願、陳情が取り上げられた。住民は高層の病院建設による住環境の変化に不安を訴え、市医師会も「地域医療の混乱をもたらす」と疑問を投げかけている。

この市有地は約2万3000平方メートル。市教委が新設中学校の予定地として確保したが、04年末に断念。05年8月には教育、福祉関連施設に限定して購入者の公募を始め、唯一応募した同学園が事業予定者に決定した。

病院は11階建てで、主目的で、11階建ての計199床。同学園が市内で運営する学生規模約800人の医療系専門学校も移転する。市は、2月の市議会に関連議案が可決されれば、正式に売買契約を結ぶ。

計画されている病院は11階建てで景観を損ねる。また、近隣には医療機関が多く、これ以上の建設は病院の過密状態を招く」と訴え、4者による協議を要求。市港湾局の中島昭男局長が4者協議を行うと述べた。

委員からは「2月の仮契約後では遅い。その前に協議できないのか」との質問が出たが、中島局長は「準備して早々に協議の場を設けたい」と答えるにとどまり、時期についての明言を避けた。

1/28 読売新聞

1/28 朝日新聞

1/28 毎日新聞

1/28 西日本新聞

シーサイドももち 病院建設計画 住民含め協議

福岡市が方針

福岡市は二十七日、博多区の学校法人「高木学園」が、早良区の市有地に計画している総合病院建設について、高木学園と地元住民、医療関係者などによる協議の場を設ける方針を、同日の市議会第三委員会でも明らかにした。景観に配慮した建物の配置や地元医療機関との連携などについて話し合う。

建設予定地は、埋め立て地「シーサイドももち」にある一等地で、広さ約二・三畝。市が昨年、土地の売却先を公募し、同学園が事業予定者に決まった。学園は、系列の医療法人社団が運営する同市中央区の福岡中央病院を、十一階建てで移転新築する方針を固めている。

病院建設計画に対し、住民側は「眺望が妨げられ、圧迫感など心理的影響もある」と反発。建物の高さや配置の見直しなども含め、関係者で十分に話し合っただけで実施計画を策定するよう求める請願書を出した。

市は、こうした住民の意向を踏まえ、新病院と既存の医療施設との連携と合わせて、土地売買契約の締結前に協議していることとした。同学園との土地売買契約協定にも協議事項を盛り込む。

これに対し、住民側は